

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	椎体体幹部定位放射線治療における装置のエラーによる線量分布への影響とエラー検出感度の検討			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2026 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	山口大学医学部附属病院放射線治療科を受診した、2022 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日の間で椎体オリゴメタスタシスに対して放射線治療を受けた患者さん			
④ 対象期間	2022 年 4 月 1 日 から 2025 年 8 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	放射線治療科			
⑦ 研究責任者	氏名	川野 良太	所属	山口大学医学部附属病院 放射線部
⑧ 使用する情報等	・ 治療計画CT とCT画像を元に作成された放射線治療計画 ・ 元の治療計画から複製して作成した装置のエラーを含ませた治療計画 ・ 放射線治療計画の線量分布と線量値 ・ 放射線治療検証用デバイスから得られたガンマパス率			
⑨ 研究の概要	近年、椎体のオリゴメタスタシスに対して定位放射線治療を施行することが生存期間に関わると報告されています。しかし椎体には脊髄という非常に重要な臓器が近接しており、椎体へ正確に放射線を当てるため治療装置には高い位置精度が求められる。 本研究では、椎体のオリゴメタスタシスに対して放射線治療を施行した放射線治療計画を使用し、放射線治療装置のエラーが治療に与える影響とエラーの検出感度を検討します。より安全な治療の提供を目的とするため以下の検証を行います。 1. 治療装置のエラーが線量分布に与える影響を検討 仮想上で椎体体幹部定位放射線治療の計画（リファレンスプラン）とエラーを含ませたエラープランを作成し、転移巣とリスク臓器に当たる線量を比較します。 2. 放射線治療検証用デバイスを用いた治療装置エラーに対する検出感度を検討 放射線治療検証用デバイスを用いてリファレンスプランに対し治療装置エラーある場合とない場合を測定します。そこで算出される治療計画と実測の適合度を示すガンマパス率というものを比較			

	します。			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025年 9 月 24日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線部運営費			
⑯ 利益相反	放射線治療検証用デバイスに関連する企業からの寄付金の受け入れはありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：川野 良太			
	電話	0836-22-2631	FAX	0836-22-2961